

第2次瑞穂町環境基本計画（案）に対する意見等結果

資料4

- ・意見等募集期間 平成31年1月11日（金）～1月31日（木）
- ・意見等提出者数 1人（電子メール受信）
- ・意見等提出件数 5件

No.	意見等	町の見解、回答
1	<p>アンケート調査について</p> <p>アンケート目的は第2次計画策定のための基礎資料となっています。出た結果をどのように判断するかによって計画への反映の仕方は正反対になります。例えば満足度、10年前との比較を指数化し、緑及び水辺に関しては10年前よりいずれも同程度向上しているが、緑に関しては満足度が高いので強みと判断して伸ばしていくべきとしています。逆な考えとしては満足度が高いので後は維持に徹し、満足度の低い物を重点的に取り組むという考えもあります。これは評価の基準を事前に明確にしてないから起こることです。この項目にたして満足度指数目標値をいくつ以上と決めてあればはっきり評価でき次のステップの事が考えられます。水辺に関しては緑より満足度が低いが、今後対策を強化すべきとかのコメントも全くありません。</p> <p>またアンケート結果が計画にどのように反映されているのかもわかりません。ただ形式的に体裁を付けるためにアンケートを取っているように思えてしまいます。アンケートには多くの方が真剣に自由意見をよせていますが、そのような意見も計画を見ると反映されているとは思えません。自由意見を分類・整理しどのように反映したのか分かる様にしていただきたい。アンケートを取るなら、分析し結果をどのように判断・評価し、計画への反映をどのようにするかまでまとめるべきです。ただ集計しただけでは税金の無駄遣いになってしまいます。</p>	<p>アンケート結果については、意識調査報告書としてまとめ、第2次計画の基礎資料として環境審議会に諮り、調査結果を踏まえて計画をしました。</p> <p>また、自由意見についても、貴重な御意見を多数頂きましたので、御意見を参考に計画策定に努めました。</p> <p>自由意見を整理した結果はホームページで公表したいと考えています。</p>

No.	意見等	町の見解、回答
2	<p>第1次計画の目標値と実績値について</p> <p>第1次計画の実施状況はただ結果を表にしているだけで評価・分析が無く、第2次計画にどのように反映しようとしているのかわからない。目標を達成できなかったのはなぜか。計画が悪かったのか、目標値が高すぎたのか。計画期間が10年間有るのに毎年チェック、アクションを取って行けば目標にもっと近づけるはずだが、逆に計画時より悪い数値になっているものもある。これではP D C Aを回しているとは言えない。例えば低公害車の導入と普及の促進の項目について言えば計画では重点プロジェクトになっているが計画当初から後退しているが、第2次計画でも同じこと書いている。10年かけて何もできず逆に後退してしまったことをなぜ出来るのか理解できない。そこにはなぜできなかったかの説明と、こうするから次は目標を達成できるという計画が示されなければ誰も納得できない。これは一例であってすべての計画に対し必要な作業だと思います。</p>	<p>第1次計画の実施状況については、毎年、環境審議会で審議を行った後、進捗状況報告書として作成・公表してきたことから、P D C Aを着実に実施してきたと考えています。</p> <p>第2次計画では、第3章に記載の5つの環境像において、現状と課題を記載し、環境像実現のための方針と施策の方向性をお示ししました。</p> <p>例示されました、低公害車の導入と普及の促進の項目については、この10年間にハイブリッド車や電気自動車の普及が進んだことから、以前は燃費消費基準を達成している車両も含め評価していましたが、平成28年度から低公害車の定義を特定低公害車（ハイブリッド車、電気自動車等）に限定したことで評価が下がったものです。説明書きが不足していたことを真摯に受け止め、上記を注記として追加しました。</p> <p>第2次計画においても、第1次計画と同様に取組についての目標を定めて1年ごとに進捗状況の管理を行い、目標達成に努めていく考えです。</p>

No.	意見等	町の見解、回答
3	<p>計画に地域オーダーメイドの考えを</p> <p>アンケート調査の自由意見を見るとかなり地域性が見える意見が多くあります。町長は立候補時地域オーダーメイドの推進を掲げました。素案を拝見するとメリハリのない総花的感じがします。重点指向・重点地域を明確にし、より具体的な計画にして欲しと思います。計画の具体性が増せば住民の関心度も増し、住民からの有意義な意見・要望も得やすいと思います。それで町が進めている協働という進め方に近づくこととなります。例えば公共交通機関の整備・利用の促進ではバス路線の拡充についてはほとんど公共交通のない元狭山地区を重点にすれば効率的・効果的な対策が出来、地域住民の希望にもつながることと思います。前回と同様に関係機関に要望していきますなどの施策ではとてもでないが実現できるとは思えません。また2年後には都市計画も改定されるということですが、地域オーダーメイドともリンクしますので都市整備部との連携も十分をお願い致します。</p>	<p>第2次計画は、瑞穂町の全体状況に重点をおいて策定しました。</p> <p>地域性については、第4章の重点プロジェクトの(3)協働による環境保全活動のための基盤づくりの項目に、「地域の理解促進」に加えて「各地域の課題解決に向けた取組の推進」を明記します。</p> <p>なお、施策の実施に当たっては他部署との連携を十分に図っていきます。</p>

No.	意見等	町の見解、回答
4	<p>計画期間について</p> <p>町には各種計画がありますが、最上位の長期総合計画と計画期間において整合性が取れていず、1本筋の通った行政が図れないと感じています。今回の計画も長期総合計画より2年先行しており、長期総合計画の反映をどうするのかと疑問に思います。逆に1～2年遅れてからスタートなら、長期総合計画に沿って計画したとなりますから理解できますが。今回の計画を機会に計画期間を2年延ばし長期総合計画との整合性を図るべきではないでしょうか。今回はメジャーの改定ですが、2年後長期総合計画ができたなら、それをさらに織り込みマイナーな改定をし、長期総合計画との整合性をはかった方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>長期総合計画の計画期間との関係においては、御意見のとおり関係が望ましいと認識しています。なお、今後、長期総合計画の計画期間と前後していることで、第2次計画の内容に不都合が生じる場合には、計画の改定も含め検討していきます。</p>
5	<p>パブリックコメント募集方法について</p> <p>今回何人の方が応募するかわかりませんが、せいぜい3名が上限だろうと思います。パブリックコメントをより出しやすくするために本題とは外れますが提言します。</p> <p>①資料として手元により多くの資料が必要です。現在の計画、パブリックコメント対象の計画案、アンケート調査資料、素案検討過程の審議会報告書。このような資料を手元に置き比較しながら考えないと意見にまとめることはできません。この提供が必要です。町ホームページにありますが、すべてを開いて比較することは困難です。</p> <p>②上記資料を貸し出しできないのでしょうか。コミセン等に公開しても資料を精査するためには自宅で行う必要があります。</p> <p>以上2点を今後行うすべての町のパブリックコメント実施の折には考えてください。応募件数が少なければ有識者に依頼することも必要ではないかとも考えます。</p>	<p>頂いた御意見を組織内で共有し、御意見を頂きやすい情報提供の方法について検討していきます。</p>